



《2013年7月24日定例記者会見資料》

高齢者向けコミュニケーションパートナーロボット 『PALRO』の試行検証を介護施設で開始します！

本市では、ロボットの高齢者施設での有用性や効果などを検証し、将来の高齢者施策へ反映の可能性について調査・研究を行います。

1 さがみロボット産業特区の重点プロジェクトに位置づけられました！

市では、介護ロボットに対する関心の高まりとともにメディアにも多く出演しているコミュニケーションパートナーロボット「PALRO（パルロ）」の新たな機能について、富士ソフト(株)のご協力のもと、介護老人福祉施設等の現場で試行検証を開始します。



パルロは、人工知能を有し、人の言葉を理解し会話やクイズの出題、歌、ダンスや体操なども行うことができる人型のロボットです。

この事業は、「さがみロボット産業特区」における生活支援・介護予防ロボットの高性能化事業に対するさらなる実用化に向けた取り組みとして、重点プロジェクトに位置づけられました。

2 市民生活の安全、安心をはじめとする暮らしやすさの実感を高める！

市では、次の日程で介護老人福祉施設等などにおいて、パルロの試行運用を行い、運動機能やQOLの維持向上など、介護ロボットの有用性について検証を進めるとともに、超高齢社会の進展に対する多様な取り組みのひとつとして、介護予防や認知症高齢者との関わり、さらには介護職員の負担軽減や介護サービスの質の向上など、介護現場での活用の様々な可能性についての調査を実施します。

更なる介護福祉基盤の充実を図り、市民のみなさんが、いつまでも住み慣れた地域で明るく楽しい健康で豊かな生活を送ることができるよう、市民の安全・安心をはじめとする暮らしやすさの実感を高めてまいります。

○ 日程

2013年8月2日（金）から約7ヶ月間

○ 実施施設及び日程

裏面のとおり